

まだ間に合います！

# 今日から始めるSDGs経営

神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト  
2026年4月22日 柳沼 真吾

## SDGs 17の目標



第1章  
SDGsとは

第2章  
メリット

第3章  
今すぐできる

第4章  
目標・KPI

第5章  
人を大切に

# 柳沼 真吾 (やぎぬま しんご)



柳沼 真吾 (1970年 8月 生)

勤務先： 農林中央金庫

居住地： 神奈川県 鎌倉市

出身： 兵庫県 加古郡播磨町

TEL： 090-3514-3603

E-Mail：

shin728masa413@gmail.com

活動形態： 企業内診断士

活動地域： 神奈川メイン+首都圏

## <神奈川県診断協会活動>

第3期 SDGsプロジェクト 環境チーム

第4期 SDGsプロジェクト プロジェクトリーダー

R6・R7年度 理論政策更新研修委員

R6年度 テクニカルショーヨコハマ セミナー登壇

## 経歴・職歴

- 1993年 4月 農林中央金庫 入庫
- ・農林水産業向け融資、農業法人コンサルティング  
企業融資・JAバンク支援業務等 担当
  - ・勤務地は本店（東京）、札幌、長崎、千葉、  
大分、福岡、青森
- 2020年 4月 中小企業診断士 登録
- 2024年 3月 農林中央金庫 早期退職・再雇用
- 2025年 1月 エスワイ総合コンサルティング 開業

## 保有資格・得意分野

### 資格

中小企業診断士、行政書士、社会保険労務士、1級FP技能士、農業経営アドバイザー、脱炭素アドバイザー アドバンスト、2級 知財管理技能士、健康経営エキスパートアドバイザー

### 得意分野

事業計画・経営改善計画・創業計画策定のお手伝い

農業経営支援、SDGs取組サポート、事業承継サポート、知財戦略

# 第 I 部 S D G S の取組みについて

## SDGs（持続可能な開発目標）とは？

**定義：** 将来世代のニーズを損なわず、現代のニーズを満たす開発  
2015年 国連総会採択 / 17ゴール・169ターゲット / 2030年達成目標

**理念：** 「誰一人取り残されない」社会の実現

環境・社会・経済の3層が土台（ウェディングケーキモデル）

**今すぐ必要な理由：**

取り組むほど機会が拡大、何もしないと脅威（人材流出・取引機会喪失）が拡大

「まだ間に合う」 — 誰でも、いつでも、今日から始められる

 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 17のゴール

# (参考) ウェディングケーキモデル

SDGs17のゴールを「環境」「社会」「経済」の視点で整理

人間社会と経済活動の持続性は、環境を土台に成立している



# SDGs経営の4大メリット



60%

がSDGs企業の商品を購入したい

### ① 売上拡大につながる

消費者の6割がSDGsに取り組む企業の商品を選ぶ（損保ジャパン調査）



4,000万円

まで低利融資（神奈川県）

### ② 金融支援が受けられる

かながわSDGsパートナー登録企業向け  
低利融資・補助金など具体的支援あり



70%

の学生が志望度アップ

### ③ 優秀な人材を確保できる

SDGsへの取り組みで採用競争力が向上  
若い世代から選ばれやすい企業になる



60.4%

が健康経営を就職決定の参考に

### ④ 従業員の満足・定着

健康経営・働きやすい職場で離職防止  
社員の生産性・エンゲージメントが向上

SDGsへの取り組みは「コスト」ではなく「経営投資」 — 行動するほど企業価値が高まる

# すでにやっていることがSDGsと紐づいている



### お店・飲食業

- マイボトル・マイバッグ推奨
- 紙容器・紙ストローへ切替
- フードロス対策（子ども食堂連携）
- フェアトレード商品の取扱い
- 量り売り・マイ容器導入



### 工場・製造業

- 3R推進(Reduce/Reuse/Recycle)
- 省エネ・節水・緑化活動
- 再生可能エネルギーの利用
- カイゼン活動・職場の5S
- 健康経営の推進



### 事務所・サービス業

- 照明のLED化・節電
- ペーパーレス化（電子請求書等）
- テレワーク・育児休業制度整備
- 営業車のEV化
- 長時間労働是正

# バックカスティング思考で目標を設定する

### バックカスティング（推奨）

望ましい未来の姿を先に描き、  
そこから逆算して今やるべきことを決める。  
⇒ 高い目標がイノベーション・社会共感・モチベーション向上につながる



### フォアカスティング（従来型）

現状の技術・ビジネスモデルを前提に改善。将来目標は明示せず「できるところからやる」

現在

2030年

### 目標設定の4ステップ

① 重要課題の特定  
(環境・人・社会)



② SDGsゴールとの  
紐づけ



③ 目標 (Goal) 設定

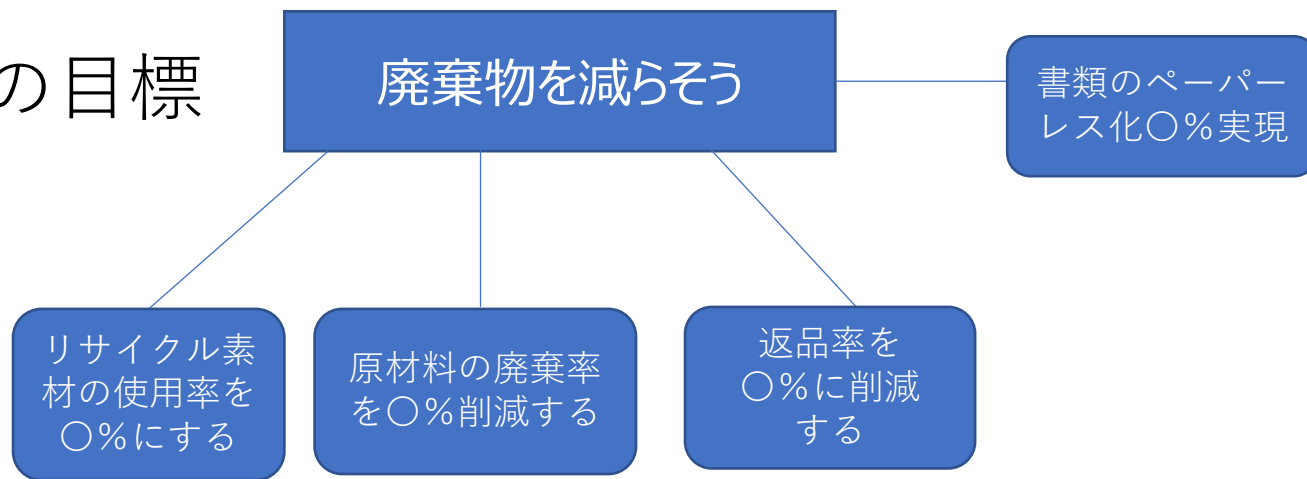


④ KPI設計・PDCAへ

- SDGsの目標（Goal）を設定した後は達成に向けたKPIの設定が必要になる。
- KPI（主要業績評価指標）とは？  
設定した目標を達成させるための過程を示すのに必要な指標  
「いつまでに、どのくらいの目標を達成できるのか」が必要
- KPIの設定が必要な理由  
バックカスティングで設定した大きなGoalに対して、達成迄のKPIを設定することで設定したGoalに向けた具体的な道筋となる指標が明確になり、その進捗状況をチェックすることで、PDCAを回せるようになる。

- SDGsの目標

スタッフ部門



- 目標達成のためのKPI

目標達成のためのKPIを設定することで、「取組に対するモチベーションの向上」と「取組の進捗管理が」図れる。KPIの設定による具体的な指標がないと、各部門、各自が別々の解釈をして行動してしまう。明確な指標があることで、企業としての行動に直結し、PDCAも回していける。

# 「SMART」なKPI設計でPDCAを回す

<b>S</b>	<b>M</b>	<b>A</b>	<b>R</b>	<b>T</b>
<b>Specific</b>	<b>Measurable</b>	<b>Achievable</b>	<b>Relevant</b>	<b>Time-Bound</b>
具体的か？  目標は明確で わかりやすいか	計測可能か？  数値で成果を 評価できるか	達成可能か？  現実的な努力で 達成できるか	関連性があるか？  成果と指標に 関連性はあるか	期限はあるか？  いつまでに達成 するかが明確か

## KPI設計の具体例（次ページ参照）

重要課題	目標（Goal）	KPI（例）	期限
エネルギー削減	地球環境負荷ゼロ工場	CO <sub>2</sub> 排出量 前年比△10%	2030年
廃棄物削減	プラスチック容器ゼロ	廃棄物リサイクル率 80%	2028年
安全な職場づくり	働きがいのある職場	離職率 3%以下 / 有給取得率80%	2027年
地域社会貢献	継続的参加・活動拡大	地域課題解決プロジェクト 年2件	毎年度

※ ベースラインを設定（特定時点 or 特定期間平均）し、前年実績を基に翌年KPIを見直すPDCAが重要

## 1) 各目標設定の比較基準となるベースラインを決める

### ベースラインを設定する方法

#### ■特定の時点で決める方法

(2015年末の女性管理職数をベースにして  
2026年の女性管理職数の増加率を決める)

#### ■特定の期間で決める方法

(2024年～2026年3年間の平均産業廃棄物廃棄量を、  
2016年～2018年の3年間の平均産業廃棄物廃棄量と比較して  
削減目標を設定。短期的な変動の影響を排除する)

自社の目標にあわせて、どちらか適切な設定方法を使用してください

## (参考) KPIの設定方法 ～ 絶対目標と相対目標

### 2) 設定する目標のタイプを決める

#### ■絶対目標 (KPIの指標のみを考慮した目標)

例 2015年末の女性管理職数をベースにして

「2026年末の女性管理職数を50%増加させる」という絶対的な指標を目標とする

2015年末 女性管理職数 10人⇒2026年末 女性管理職数 15人

#### ■相対目標 (原単位に対する相対的な目標、KPIを算出の単位と比較する方法)

例 「企業の単位売上高に対する産業廃棄物の量を2023年から2026年までに25%削減する」という相対的な指標を目標とする

売上1億円を単位売上と設定した場合、  
2023年 売上10億円 廃棄量10 t  
単位売上1億円に対して現状廃棄量1t  
⇒0.75tに削減することを目標設定



2026年売上が12億円とすると廃棄量削減なしだと12 t  
単位売上1億に対し排気量25%削減すると⇒9 t  
⇒0.75t (1t当り排出量) ×12億 = 9t



# (参考) 具体的なKPI設計例 ①: 環境 (Environment) × コスト削減

## 1. エネルギー効率化

【KPI】

CO2排出削減率 (%)、再生可能エネルギー転換率 (%)

【Business Impact】

脱炭素への対応力強化、中長期的なエネルギーコストの削減。



## 2. 資源循環 (サーキュラー)

【KPI】

廃棄物リサイクル率 (%)、不良・廃棄率の低減 (%)

【Business Impact】

産業廃棄物処理コストの直接的な圧縮、原材料費の削減。



## 3. 持続可能な調達

【KPI】

環境配慮型素材 (FSC認証紙など) の調達比率 (%)

【Business Impact】

大手企業からのグリーン調達要請への適応、取引機会の喪失防止。



# (参考) 具体的なKPI設計例 ② : 社会 (Social) × 組織力強化

## 1. 人材定着と働きがい

【KPI】

離職率の推移 (%)、有給取得率 (%)、従業員エンゲージメントスコア

【Business Impact】

採用コストの削減、熟練技術の流出防止、生産性の向上。



## 2. ダイバーシティと育成

【KPI】

女性管理職比率 (%)、資格取得者数・研修受講修了率

【Business Impact】

多様な視点による新規事業創出、変化に強い組織風土の構築。



## 3. 地域社会との連帯

【KPI】

地元人材の採用比率、地域課題解決型プロジェクトの件数

【Business Impact】

地域内での企業ブランド向上、持続可能な採用基盤の確立。



# (参考) 具体的なKPI設計例 ③: 経済・事業 (Economic) × 成長戦略

## 1. 新市場・新事業の開拓

【KPI】

SDGs関連製品・サービスの売上高 (円)、新規市場への参入数

【Business Impact】

1,200兆円と言われる社会課題解決市場へのアクセス、新たな収益の柱の構築。



## 2. ステークホルダー評価

【KPI】

サステナビリティ関連の新規取引獲得数、ESG投資・融資の獲得額

【Business Impact】

環境・社会配慮を重視する大手企業とのサプライチェーン連携、有利な条件での資金調達。



## 3. 生産プロセス革新

【KPI】

工程能力指数の向上、製造ラインの自動化・効率化率

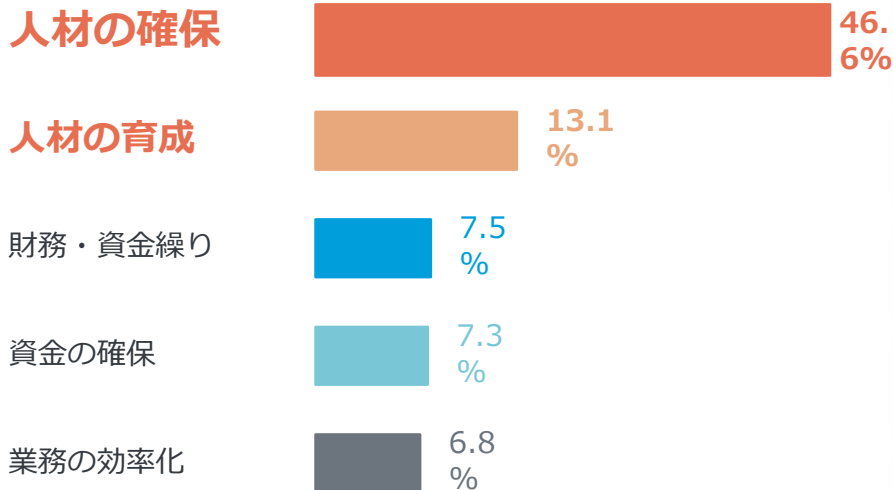
【Business Impact】

「つくる責任」を果たすと同時に、究極の歩留まり向上と利益率改善を実現。



## 中小企業の最優先課題 × SDGs経営で一石二鳥

中小企業の最重要経営課題（2024白書）



どちらも「人と組織」の課題

5つの実践施策（人を大切にするSDGs経営）

- ① D&I（ダイバーシティ）
- ② 人材育成・教育支援
- ③ エンゲージメント向上
- ④ 柔軟な働き方
- ⑤ 健康経営

SDGs ゴール8「働きがいも経済成長も」  
自社の人材課題の解決 = 社会課題の解決

## 1. 持続可能な成長の実現

- ・ 経営戦略と連動した人材マネジメントにより、長期視点での事業展開が可能
- ・ 経営戦略とリンクした人材戦略 ⇒ 持続的な企業価値の向上

## 2. 人材の確保と定着

- ・ 特に若い世代から選ばれやすくなり、優秀な人材の確保と定着に寄与

## 3. イノベーションの促進

- ・ 多様な人材の活用や、社会課題解決への取り組みにより新たなビジネスチャンスやイノベーションを生み出す可能性

## 4. 従業員のモチベーション向上

- ・ 社会貢献につながる仕事に従事することで従業員の仕事への意義や満足度が向上

## 5. 企業イメージの向上

- ・ SDGs経営に取り組むことで顧客や取引先からの信頼が高まり、ブランド価値が向上

## 健康経営 — 従業員の健康を「コスト」から「投資」へ

### 健康経営とは

従業員の健康管理を経営的視点で捉え、戦略的に実践すること。健康をコストでなく「企業成長のための重要な投資」と位置付ける。

1. 健康宣言  
経営トップが表明

2. 体制整備  
担当者・方法決定

3. 課題把握  
健診・アンケート

4. 計画・実行  
具体施策を実施

5. 評価・改善  
効果測定しPDCA

### 具体的な取り組み

**運動促進** ウォーキング・昼休みウォーク

**食生活改善** ヘルシー弁当・低カロリー自販機

**禁煙支援** 敷地内全面禁煙・禁煙プログラム

**メンタル対策** ストレスチェック・カウンセリング

**過重労働対策** 労働時間管理・有給取得促進

**女性の健康支援** 女性特有の健康課題の支援

# 60.4%

が健康経営への取り組みを  
就職先決定の参考にする

出典：日経新聞社「働き方に関するアンケート」2023年9月

# 54.6%

が「心身の健康を保ちながら  
働ける職場」を職場選びの条件に

出典：同上 就活生600人・転職者300人対象

人を大切にするSDGs経営 = 自社の人材課題と社会課題を同時に解決する経営アプローチ

## SDGs 17の目標



# 今日から始めましょう！

SDGs経営は「まだ間に合う」 — 誰でも、いつでも、今日から

### STEP 1

#### 現状の棚卸し

日常業務の中でSDGsと  
関連する活動を見える化

### STEP 2

#### 目標・KPIの設定

バックカastingで  
2030年の姿を描く

### STEP 3

#### 宣言・発信・相談

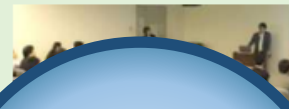
「かながわSDGsパートナ  
ー」への登録と伴走支援を  
活用

第Ⅱ部 神奈川県中小企業診断協会  
「SDGsプロジェクト」のご紹介

# (参考) 神奈川県中小企業診断協会とは

## 組織概要

- ◆所在地 横浜市中区尾上町5-80神奈川中小企業センタービル 12階1201号室
- ◆沿革
  - ・1957年5月 社団法人中小企業診断協会（当時）神奈川県支部として発足
  - ・2012年4月 法人として独立
- ◆会員数 中小企業診断士 738名（2025年3月）
- ◆URL <https://sindan-k.com/>



SDGs  
プロジェクト  
(25名)

## 理念

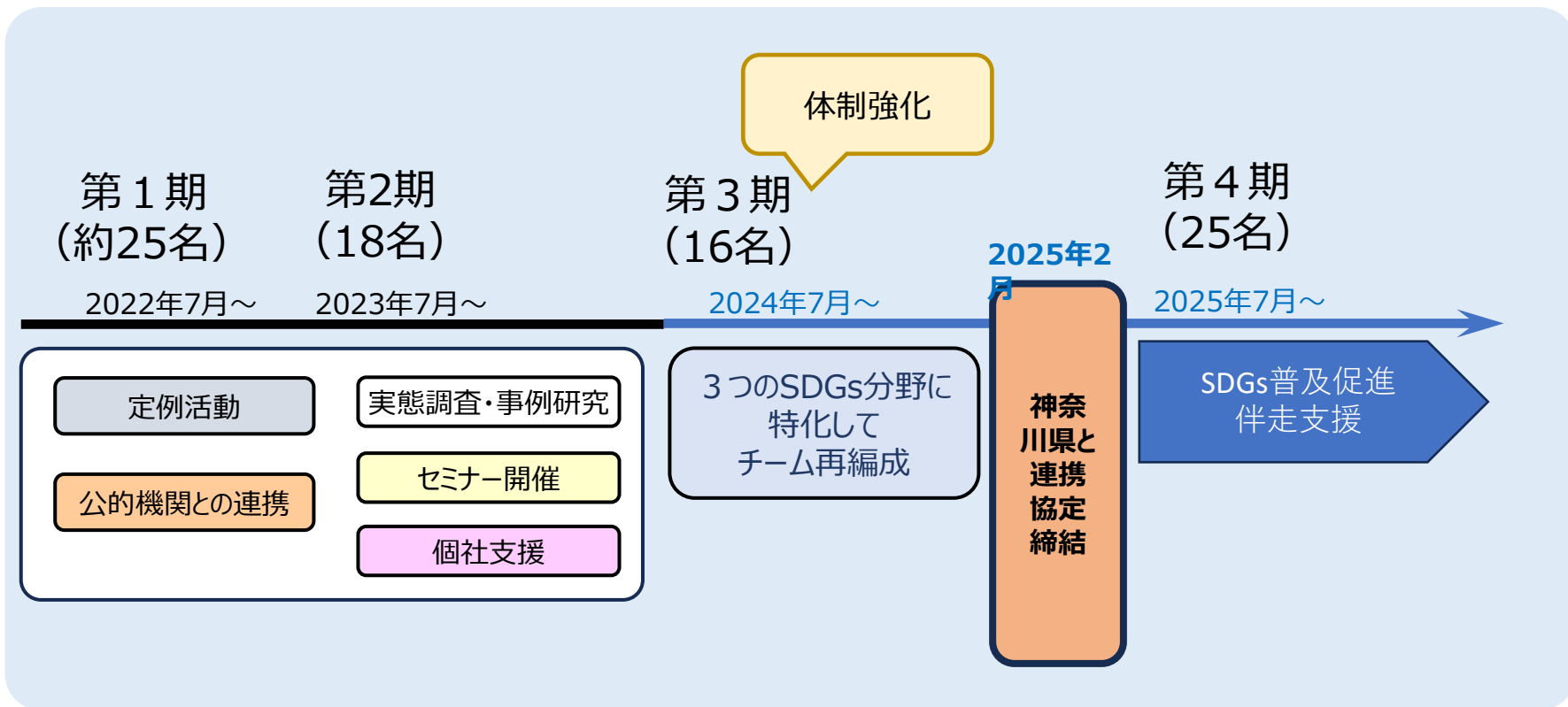
多様性を持つ「専門家(エキスパート)集団」  
として、地域社会と産業の振興に貢献する

## 目的

地域社会と産業の振興に貢献する活動を通じて、  
当協会に属する全ての中小企業診断士の資質向上  
を図ることにより、以て中小企業診断士の認知度  
の向上を図る

当協会は、老若男女を問わず、多様なバックグラウンドと様々な強みを持つ会員が、「全員参加」し、「一致協力」して活動できる組織です。また、中小企業の経営課題に、「診断士」として社会から求められる助言・支援を自信と責任を持って果たすことを通じて、実現していきます。

# (参考) SDGsプロジェクトの歩み



## 2. 実態調査・事例研究

かながわ SDGs パートナーへのインタビュー調査結果報告書



**KANAGAWA SDGs PARTNER**

神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。



2025 年 5 月

一般社団法人神奈川県中小企業診断協会  
公益推進部 2025 年度 SDGs プロジェクト

表紙  
(PDF文  
書)

## 2. 実態調査・事例研究

◎11者にインタビュー

→報告書（68ページ）を発行

◎5～10ページ単位でご紹介

→SDGs取組の背景まで詳説

**ぜひ、ご一読ください**

新規掲載のご要望も承ります

かながわSDGsパートナー（毎月ミーティング）

かながわSDGsパートナー（毎月ミーティング）の資料等を公開します。

経営支援で「公益」を図る

### 3. 株式会社ダイイチ

#### 1 企業・事業概要

株式会社ダイイチは、1947年千葉県木更津市に創業した「洋服店」です。戦後、衛生法の徹底で、食品・美容業界向けに白衣需要が高まった。白衣の製造販売で売上を伸ばし、1951年、主要販売先があった横浜に移転。しかし、横浜に移転したものの、新規顧客開拓に苦勞します。そんな中で、当時の総支配人が、ダイイチの技術力を評価し、ウェイトレスのユニフォームを持ってきます。最新のファッションブルなユニフォーム製造という思いをもち、創意工夫したダイイチのデザインは気に入られました。ダイイチの企画提案営業の原点であります。

現在では、白衣製造から、企業のアイデンティティを表現するコーポレーションを主力とし、「ユニフォーム事業を通じて人と環境との調和を創造」し、様々なユニフォームの企画・デザイン・製造に力を入れ、事業を拡大しています。

また、近年では、防災備蓄品の販売にも力をいれています。

現在、横浜の本社に加え、横浜総合卸センター内に、物流センターと兼ねた東名営業所、静岡営業所に拠点を有しています。

項目	概要
所在地	本社：神奈川県横浜市中区宮川町3-89
創業・設立	1947年千葉県木更津で、洋服店として創業。移転。1953年会社化。1970年現社名に変更。
事業内容	ユニフォームの企画・製造・販売、防災備蓄
事業拠点	本社（横浜市中区）、東名営業所（横浜市瀬谷区）（静岡市駿河区）
資本金	6,450万円
従業員数	95名（男子49名、女子46名）*2022年2月現在
売上高	30億2千万円*2022年2月現在
ミッション（役割）	ユニフォーム事業を通じ、「人と社会が輝く」を使命とする。
SDGs方針	ダイイチの事業活動を通じて、お客様（社会）を、ロジックモデルの「アウトカム」で可視化し、毎年測定（アンケート調査）する。社会と環境への影響を改善する。

#### 4 取り組んでいるSDGsの目標



5. ジェンダー平等を実現しよう（あらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画および平等なリーダーシップの機会を確保する）女性の意見を反映して男女兼用パッチとパンツを開発し、第1回神奈川なでしこブランドの認定を受けました。従業員の半数は、女性。



8. 働きがいも経済成長も（全ての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する）。企業のイメージを表現したユニフォームの製作を通して、職場の魅力・従業員のモチベーションを高める取り組みをしています。

14



11. 住み続けられるまちづくりを（あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う）：ユニフォームの提供のみならず、防災商品取扱、地域の安全な街づくりに貢献し、地域志向CSRに取り組んでいます。



12. つくる責任つかう責任（廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する）：ユニフォームの古着を回収し、原料に戻し、再利用することにより、廃棄物の発生削減、再生利用に取り組んでいます。



17. パートナーシップで目標を達成しよう（効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する）：株式会社JEPLANとの連携による古着回収、神奈川県、かながわ信用金庫からの支援を受け、

# 3. SDGsセミナー開催

◎セミナーコンテンツの開発  
「3つチーム別」



◎セミナーへの登壇  
「ご要望に応じてカスタマイズ」

弊協会Webサイトから  
お気軽にご相談ください

## 企業ブランドを高めるヒント満載 いまから始めるSDGs経営！

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

無料

セミナー＋個別相談で、社長のお悩み解決。  
神奈川県と『SDGs推進協定』を締結した『神奈川県中小企業診断協会』が、中小企業のSDGs経営を強力に応援！脱炭素、人材育成、経営改善の実践に役立つ具体的なヒントを提供するセミナーと個別相談会です。

2025.6/27<金> 13:00-16:30(先着50名)  
会場：かながわ労働プラザ（裏面地図参照）4階第5～7会議室

	内容
第一部 セミナー 13:00 ～ 15:15	13:00開会 神奈川県よりご案内 (神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室SDGs推進グループ) 13:15「脱炭素の取り組みでがっちり経営」 <基礎編> <実践編> ～脱炭素経営でバッチリ経営改善～ 14:15「小さな会社でもできるSDGs」 ～診断士と歩む実践ストーリー～ 14:45「人を大切にするSDGs経営」 ～人と組織の課題を解決するヒントのご提案～
	講師：柳沼 真吾/山本 邦雄 講師：東原 貞夫 講師：小谷 文彦
	～休憩～

第二部  
個別相談会  
15:30  
～  
16:30

無料個別相談会  
(参加申込時に個別相談会の申込みをお願いします、当日参加可も)  
相談ブースごとの相談内容  
Aブース：かながわSDGsパートナーへの登録、SDGs全般  
Bブース：脱炭素、省エネ 他  
Cブース：採用、人材育成 他

主催：一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会  
SDGsプロジェクト (koeki@sindan-k.com)  
協力：神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室  
SDGs推進グループ

お申込み  
こちらからお申込みください。  
<https://sindan-k.com/sdgs-seminar2025/>



茅ヶ崎市 様



テクニカルショーヨコハマ2025でのSDGsセミナーの登壇「人を大切にするSDGs経営」



経営支援で“公益”を図る

# 4. 個社支援／相談会

## ◎SDGs経営相談会



## ◎専門家チームによる 伴走支援

ご支援先は神奈川県SDGsパートナー登録及び登録を目指す中小企業の皆様が対象となります。

**弊協会Webサイトから  
お気軽にご相談ください**



中小企業診断士が  
SDGs に取組む中小企業を支援します!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「神奈川県中小企業診断協会」が、「神奈川県」および「神奈川県産業振興センター」とタッグを組んで、中小企業のSDGs達成に向けた行動促進に対する支援を行います。  
中小企業診断士のサポートで、SDGsの達成に向けた戦略を共に築きましょう!

私たちが一人ひとりの行動が未来につながる。  
SDGs未来都市 神奈川県

かながわSDGsパートナー

具体的な支援内容

- ◆SDGsを事業戦略に統合し、新たなビジネス機会を見つけてましょ。
- ◆ステークホルダーとの協力を強化し、SDGsの達成に向けたパートナーシップを構築します。  
\*スタートアップ企業、お客先、従業員、金融機関、取引先、行政等
- ◆社内でのSDGsへの取り組みを促進するための教育と意識啓発を実施します。
- ◆SDGsの取り組みをビジネス拡大につなげるための効果的な情報発信をサポートします。
- ◆SDGs達成状況をモニタリングし、改善策を共に考えます。

支援の流れ

個社支援の流れ: 体制構築 → 優先事項の決定 → 達成目標の策定 → 活動開始 → 進捗状況のモニタリング → 半年後の評価見直し

専門員による支援

- \*神奈川県産業振興センターの支援チーム（「無料」、「有料（11千円/回、最大8回）」）を活用します。
- \*かながわSDGsパートナーに登録していただけます。

貴社の持続可能な未来のために、神奈川県中小企業診断協会の個社支援をご活用ください。

ご連絡先: 神奈川県中小企業診断協会 公益推進部メールアドレス: koeki@sindan-k.com



相模原市



SDGsセミナー後の個別相談会

# 5. 経営支援体制の強化

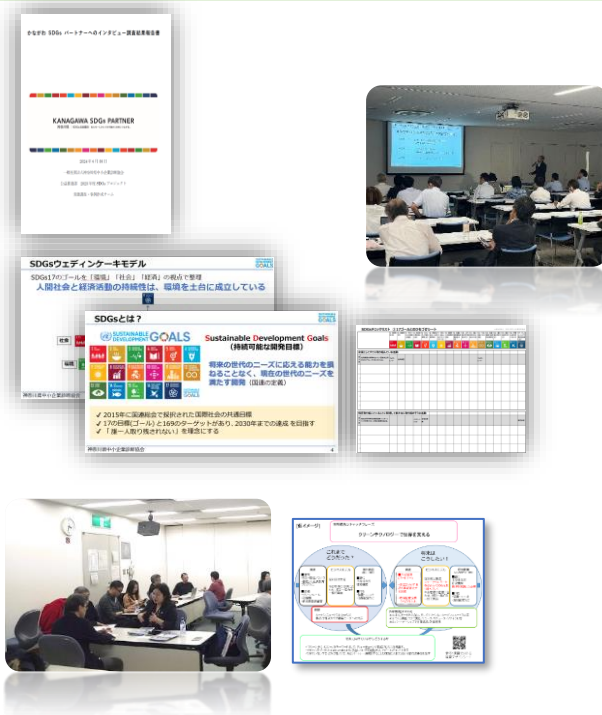
## ①分野別3チーム体制(2024年7月～)

- ・3つの専門チーム化により、テーマ別に支援力を強化
- ・より多くの企業が取り組めるよう、**広報・普及活動を拡大**

- a. **SDGs経営チーム** (SDGs経営全般の支援)
- b. **環境チーム** (脱炭素・省エネルギーの支援)
- c. **人・社会チーム** (健康・ダイバーシティの支援)

- ◎事例調査、報告書の公開 (Web)
  - ・インタビューを含む
- ◎セミナー、経営相談会開催 (リアル)
  - ・動機付け／企業活動とSDGsの紐づけ
  - ・教育訓練
- ◎企業様への伴走支援 (リアル)
  - ・SDGs経営の深化に向けた実践活動

→ 今後は、**個社支援力**を一層強化



# 個社支援事例紹介（5社様）

# A社様（鎌倉市）

## 1. 会社概要

項目	内容	備考
業種	内装材と呼ばれる建材の企画製造販売	調湿建材（SDGs建材）
設立	1998年11月	
従業員数	3名（うちパート1名）	

## 2. アドバイスを求められた内容・支援内容

### アドバイスを求められた内容

- ①従業員の採用をしたい。
- ②本業から逸脱しているように見える数々のSDGsの取組みの中から1本筋が通った取組みを選択して、それに注力してききたい。

### 支援内容（3回）

- ①HP、SNSでSDGsの取組みをわかりやすく発信することでターゲット人材の採用につなげる採用戦略を提案（HPの見直し提案を含む）
- ②まずSDGs取組みの棚卸し作業を提案、棚卸し結果を踏まえて、注力すべきSDGsの取組みを提案。  
あわせて「目指す姿」とそれに向けての「ロードマップ」、「SDGsがもたらす経済効果」等を提案。

【目指す姿】

SDGs洗い出し

「野草とガーデニング」  
コラボ

雇用創出  
(高齢者・ひきこもり支援)

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

剪定ごみの堆肥化  
(脱炭素)

13 気候変動に具体的な対策を

3 持続可能な開発目標

10 人や国の不平等をなくそう

若者からの注目度向上  
(野草料理界等)



# D社様（横浜市）

## 1. 会社概要

項目	内容	備考
業種	自動車販売・買取業	整備・板金・修理
設立	1998年7月	
従業員数	30名	

## 2. アドバイスを求められた内容・支援内容

### アドバイスを求められた内容

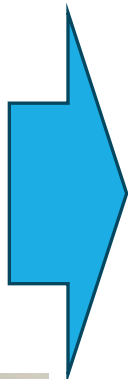
①SDGsの取組み自体は一定程度行っており、それを経営に活かしていくことに課題を感じているが、何から始めたらいいかサポートしてもらいたい。



### 支援内容（3回）

以下の5つの取組みについて提案のうえ支援。  
①経営層の意識を高める。当面の目標を設定する。  
②中核従業員の理解を得て、現状認識を明確にする。  
③SDGsと現在の業務との紐づけ作業を行う。  
④自社の優れている点を、社外に対して情報発信を行う。  
⑤神奈川県SDGsパートナー登録を活用した今後の経営展開を考える。

- ①経営層の意識を高める。当面の目標を設定する。
- ②中核従業員の理解を得て、現状認識を明確にする。
- ③SDGsと現在の業務との紐づけ作業を行う。
- ④自社の優れている点を、社外に対して情報発信を行う。
- ⑤神奈川県SDGsパートナー登録を活用した今後の経営展開を考える。



## 【具体的支援内容】

- ①経営層に**当会作成の「SDGs基本のキ」**を活用して概要を知ってもらい、日常的な取組みがSDGs活動であり、どのような企業であっても取組みが可能で、取組みが経営に好影響を与えることを説明。  
①具体的な目標設定を支援。
- ②従業員（10名）にも同様に説明会を実施。**横浜市SDGs認証“Y-SDGs”チェックシートの活用**
- ③中核従業員全員で業務との紐づけ内容のすり合わせを行い、内容を確定する。
- ④自社の優れている取組みについてHP上での情報発信を行う。
- ⑤パートナー会への登録が実現し、他社との連携・情報交換を行うことで、事業への波及方法を模索する。



# S社様（藤沢市）

## 1. 会社概要

項目	内容	備考
業種	卸売業、小売業	学生服等のリユース
設立	2023年1月	
従業員数	一名（代表のみ）	

## 2. アドバイスを求められた内容・支援内容

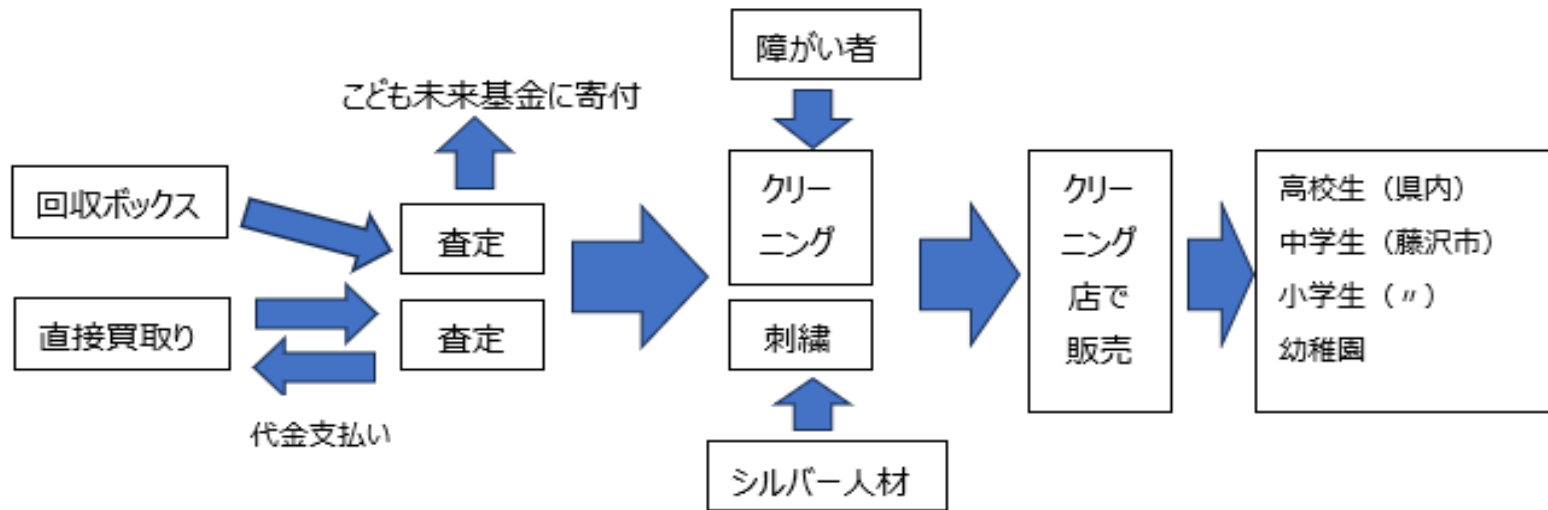
### アドバイスを求められた内容

- ①中古学生服の調達チャネルの拡大（回収boxを4～5か所設置場所を増やしたい）
- ②閑散期（夏場）の売上対策（夏場の売上落ち込みを何とかしたい）
- ③利益管理の仕組み構築（現時点で利益管理が不十分）

### 支援内容（3回）

- ①藤沢市内有力企業2社へ回収boxの設置の具体的提案を実施し、好意的な反応を得ている（回収拠点拡大の可能性大）。
- ②閑散期対策として補修サービスを高知することで競合店との差別化を図り、夏場の売上確保に向けた具体策が明確になった。
- ③現在使用しているエア・ペイレジによる分析ができるようサポートを実施。目標達成に向けて具体的な計画立てられるようになった。

# 【ビジネスモデル】



回収協力



衣服・子ども服・学生服  
※購入後5年以内のもの

回収引き取り



回収したもののから  
売り上げの一部を基金に送金

活動寄付



子ども家庭庁  
子どもの未来応援国民運動  
基金に寄付

活動費支援



全国の支援団体の活動費に

# T社様（川崎市・世田谷区）

## 1. 会社概要

項目	内容	備考
業種	業務用食品の製造・販売（含む献立作成）	給食業務受託
設立	1956年（昭和31年）4月	
従業員数	452名	管理栄養士・栄養士 42名

## 2. アドバイスを求められた内容・支援内容

### アドバイスを求められた内容

- ①「環境」に関する取り組みを地域と紐付けて何かやりたいので、何ができるのかを含めて助言いただきたい。
- ②当社は「栄養士」、「管理栄養士」を多数抱えている。SDGsと絡めて自社の付加価値向上につながる取り組みについて助言いただきたい。
- ③グループ子会社を含めて452名の従業員を抱えているが、健康経営の取り組みは「健康経営優良法人」の認定申請をしたところ。これからステップアップ（ブライト500、ネクストブライト1000）をしていくための助言をお願いしたい。

### 支援内容（3回）

- ①②③外部環境の変化を踏まえて、1)卸の収益性強化、2)冷凍総菜の縮小・撤退と工場の再定義、3)（管理）栄養士の専門支援職化、4)DXによる非属人化と提案力強化、5)SDGs、健康経営の営業資産化を柱とした3カ年の事業戦略・3カ年ロードマップを提案。
- ③健康経営に関しては、（管理）栄養士による健康レシピの社員への提供、健康勉強会の開催等を提案、あわせて健康KPI設定・達成を目指すことでネクストブライト1000、ブライト500の取得を目指すことを提案。

## 短期提案 (0~3ヶ月)

Project: 100億円企業への成長戦略

PHASE 1: 基盤整備・可視化

“すぐ効く領域”で成果を出し、課題を定量化する

## KPI 仮説設計

TARGET: 卸・工場・栄養士

✓ 3部門の主要KPI候補を作成

✓ ダッシュボード叩き台を  
1ヶ月で作成

kintoneにダッシュボード作成機能があります



## 物流コストの可視化

IMPACT: 利益貢献

✓ ルート別採算・稼働率の簡易分析

✓ 即実行できる改善案（ルート統合等）を提示

## データ品質診断

GOAL: DXの前提整備

✓ 欠損・不整合データの洗い出し

✓ 修正優先順位の提示と入力ルール策定

## 健康経営の重点特定

FOCUS: 睡眠・喫煙

✓ 健康データの簡易分析で課題特定

✓ 栄養士リソースを活かした改善仮説

## 属人化の可視化

ACTION: 業務継承し

✓ 属人業務の棚卸しと可視化

✓ システム化・標準化すべき業務を特定

CONFIDENTIAL 2/5

## 中期提案 (3ヶ月~1年)

Project: 100億円企業への成長戦略

PHASE 2: 仕組み化・変革

“伴走が不可欠な領域”で組織を変え、利益体質を確立する

KPI体系の本設計  
と運用定着

OBJECTIVE: 組織マネジメント

▶ 全社・部門別KPIツリーの本設計

▶ 月次レビュー会議の仕組み化 (PDCA)

▶ ナッジ理論を活用した行動変容の促進

物流最適化  
プロジェクト

OBJECTIVE: 利益改善の本丸

▶ 配送ルートの統合・最適化

▶ 稼働率目標の設定と改善実行

▶ 配送KPI（実奉率・回転率）の運用開始

三位一体モデルの  
仕組み化

OBJECTIVE: 卸×工場×栄養士

▶ 3部門連携の業務フロー標準化

▶ 栄養士の価値を「商品化」し外販

▶ 保育園向け冷凍主食モデルの事業化

## 健康経営の高度化

FOCUS: 認定取得

✓ プライム500/1000申請対応

✓ 睡眠・喫煙改善の具体的施策

✓ 栄養士による全従業員支援

## DXロードマップ策定と伴走

FOCUS: デジタル基盤

✓ データ品質改善プロセス定着

✓ 経営ダッシュボード化

✓ 属人業務のデジタル化・自動化推進

CONFIDENTIAL 3/5

# B 社様（藤沢市）

## 1. 会社概要

項目	内容	備考
業種	教育・学習支援事業	2030 SDGsカードゲーム
設立	2021年4月	
従業員数	一名（代表のみ）	

## 2. アドバイスを求められた内容・支援内容

### アドバイスを求められた内容

①「2030 SDGsカードゲーム」の企業への提供方法の助言（全体マネジメント、価格設定・マネタイズの方法、企業選定・マッチング方法等）

②上記でカードゲームを提供した企業からSDGsコンテンツの入手および、入手したSDGsコンテンツの他企業への展開（SDGsの普及）に関する助言

※マネタイズが安定稼働した段階で、小学校への無償提供スキーム（企業スポンサーあり）も考えたい意向あり。

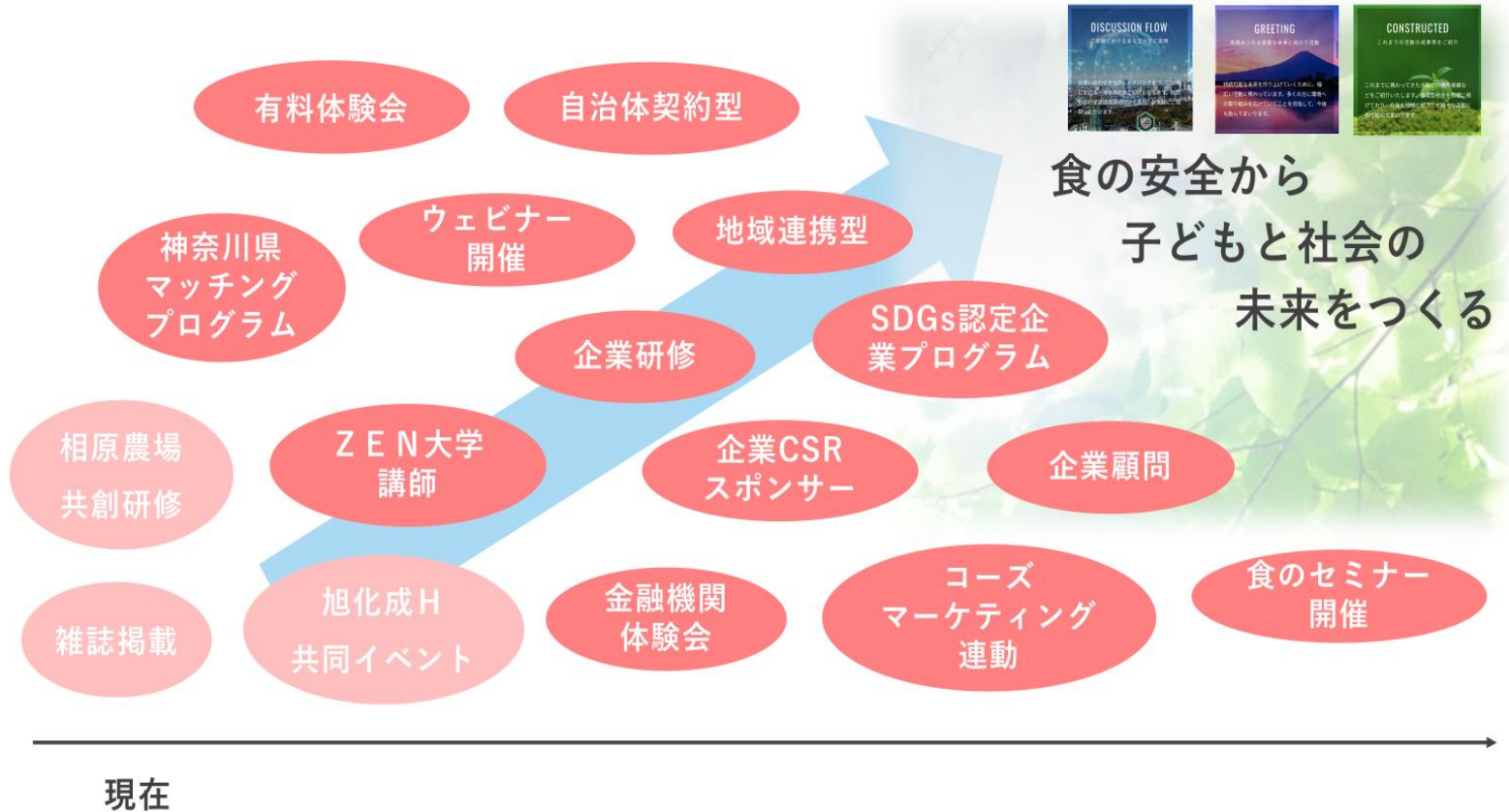
### 支援内容（3回）

①②販路開拓施策として、1)Z大学での就活、2)SDGsパートナーリスト活用、3)神奈川県のマッチングシステム活用、4)金融機関体験会について説明・提案。

①②目指すべきビジネスモデル例として、有料体験会、企業研修、ウェビナー開催、企業CSRスポンサー型、コースマーケティング連動型、自治体契約型、地域連携型、SDGs認定企業プログラム型、企業顧問型について提案。

①②また、各モデルの実行計画とそのロードマップを提案。

# B社様 SDGs経営推進ロードマップ



6 / 1 2 (金)

# SDGSセミナーのご案内

一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト

## SDGsを 経営の武器にする

2026年 6月12日(金)  
14:00~17:00

会場 神奈川中小企業センタービル  
14階 多目的ホール  
(JR関内駅・馬車道駅・各徒歩約5分)

参加費 無料 (先着50名)




### 第1部 脱炭素・人材・企業価値を 高める実践セミナー

SDGs経営 (持続可能な開発目標を経営戦略に取り入れること) は、経営の「武器」ともなる取り組みです。

<テーマ>

- ・SDGsに取り組んでいるけどうまくいかない
- ・脱炭素はコスト削減と競争力強化のチャンス
- ・人が集まる・辞めない会社づくり

### 第2部 個別相談会

相談内容ごとにブースを分け、お悩みのご相談を個別にお伺いいたします。

※セミナーとあわせてお申込みください

## お申し込み方法

下記URL、2次元コードからお申込みください。

<https://forms.gle/2Tnwk1U4ybzP68aw8>



主催：一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト (ksdgs@sindan-k.com)  
協力：神奈川県政策局 いのち・未来戦略本部室 SDGs推進グループ

## 第1部：セミナー

14:00 開会：神奈川県SDGsに対する取組について

講師：神奈川県 政策局 いのち・未来戦略本部室SDGs推進グループ

14:30 SDGsに取り組んでいるけどうまくいかない…

～このもやもや どうやって解決？～

講師：角田 有史 (中小企業診断士)



15:10 脱炭素はコスト削減と競争力強化のチャンスです

～経営者が「やるか・やらないか」を判断できる実践的視点～

講師：加藤 則仁 (中小企業診断士) / 小柳 一郎 (同左)



15:50 人が集まる・辞めない会社づくり

～中小企業のためのやさしいSDGs活用法～

講師：藤田 連一 (中小企業診断士) / 宮川 典之 (同左)



## 第2部：個別相談会

SDGs全般

かながわSDGs  
パートナー登録など

脱炭素・省エネ

脱炭素経営の実践

人材採用・育成

SDGsで人を活かす

## 一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会 SDGsプロジェクト

本プロジェクトは、2022年6月に発足しました。神奈川県下の中小企業の持続可能な発展を支援し、地域の経済・社会・環境に貢献することを使命としています。

主な活動は、企業のレベルに応じたセミナーの企画・開催、先進企業へのインタビューを通じた実態調査・事例研究、専門家チームが約3ヶ月伴走する個社支援の3本柱です。

<過去の活動実績>

- ・セミナーの開催・登壇  
「テクニカルショウヨコハマ2026」にて、脱炭素をテーマとしたSDGsセミナーを開催 (2026年2月) 等
- ・調査報告書・事例集の作成  
かながわSDGsパートナーへのSDGs意識アンケート調査。県下中小企業のSDGsへの先進的取組事例集の作成。
- ・表彰  
「かながわみんなのSDGs」において、「神奈川県中小企業診断協会賞」の授与

お問い合わせ先

(一社) 神奈川県中小企業診断協会 公益推進部  
SDGsプロジェクト

(メールアドレス)

k s d g s @ s i n d a n - k . c o m

今日は、ご清聴ありがとうございました。 |